

まるい校舎

加古川市立川西小学校

校長室だより 第4号

令和5年6月16日

様々な体験活動を充実させる（1）

「21世紀出生児縦断調査」という調査をご存知でしょうか。2001年(平成13年)に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察することにより、教育に関する国の諸施策を検討・立案するための基礎資料を得るため、厚生労働省が2001年(平成13年)から実施していた調査です。第16回(平成29年)から文部科学省が引き継いでいます。

この調査の特別報告が、今年の3月に発表されました。その報告の中で、小学校での体験活動について次のように記されています。

小学校高学年の時期における各種の体験活動の経験は、その後の非認知能力等に関してよい影響を及ぼす可能性がある結果となっている。

令和5年3月24日 文部科学省 報道発表より

※「非認知能力」は、数値化できない「生きていくために必要な能力」とであるとされています。「非認知能力」が高まると、「認知能力（＝学力やIQ）」も高まるという研究結果が示されたことで、近年、注目されている能力です。

新型コロナの5類感染症への移行を受けて、学校の新型コロナ対応も変更されました。子どもたちのよりよい学びに向けて、学校内外の行事を計画的に進めて参りますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。



行事等の紹介



<学校たんけん>

2年生に学校の中のことを教えてもらったあと、1年生だけで校舎をたんけんしました。



<プールでヤゴとり>

プール掃除前に、1・2年生がプールに入って、水の中にあるヤゴ（トンボの幼虫）とりをしました。